

ISO14001認証取得

リーディング3事業部が認証取得

当社のISO14001に対する取り組みは、「それぞれ異なる事業形態を有する3つの事業部を認証取得のリーディング事業部」として、活動をはじめました。最初の認証取得は、1998年2月の精機事業部および関係会社・川重ハイドロリック株 でした。

続いて1998年度には、ロボット事業部および関係会社・カワサキロボティクス株 が 98年10月に、また環境装置第一事業部が99年3月に、それぞれ取得しました。

2001年度末までに主な事業所はすべて認証取得を完了する予定です。

事業部名称は1998年度の組織によります。

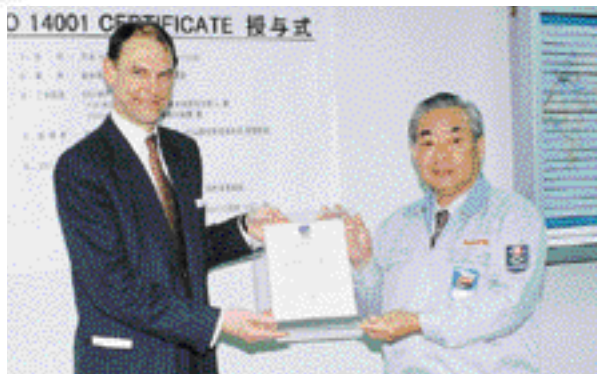
環境マネジメントシステムの普及

環境マネジメントシステムを全社に普及・展開するために、次のような体系的な取り組みを独自で行っています。

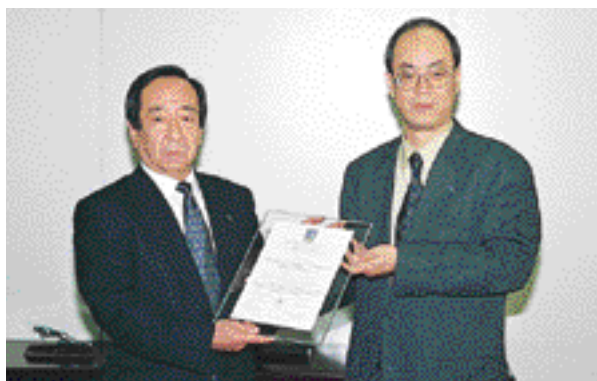
- (1) ISO14000s環境セミナー
各事業部門のトップを対象に、ISO14001の求める環境マネジメントシステムの理念・考え方を説明し、理解を高めています。
- (2) 認証取得実践セミナー
リーディング事業部の認証取得で得た貴重な体験を、後続事業部に水平展開しています。
- (3) 内部環境監査研修
環境マネジメントシステムの構築を担当する社員を対象に、ISO14001規格の詳細な理解のための研修を行うとともに、内部環境監査員の養成に努めています。1998年度末現在、内部環境監査員255名を養成しています。

内部環境監査研修内容

講義	1. 地球環境問題とISO14000sの動向 2. ISO14001規格の解説 3. 日本適合性認定協会(JAB)の動向 4. 日本の環境保全関連法令および条例 5. ISO9000sから14000sへの展開 6. 環境関連情報
	「認証取得の実際」 「環境監査技法」 ・ 監査技法 ・ ECAR、ECMの作成要領
演習	・ ケース・スタディ(不適合の摘出) ・ ボードワーク(ケース・スタディの答え合わせ) ・ ECAR、ECMを作成 ・ ECARのレビュー
テスト	・ 修了試験



認証取得を受ける西村精機事業部長(右/当時)



認証取得を受ける中川ロボット事業部長(左/当時)



認証取得を受ける井手環境装置第一事業部長(左)



内部環境監査研修(地球環境部三代講師:垂水研修所にて)

	1997年度	1998年度	合計
内部環境監査員数	50名	205名	255名